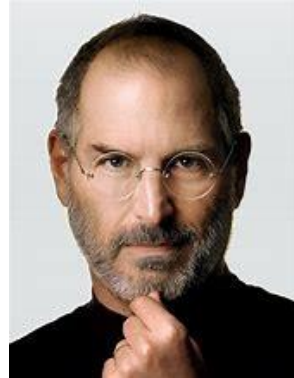


『Mind Charging』

第 16 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 1 日

スティーブ・ジョブズの名言



I'm a very big believer in equal opportunity as opposed to equal outcome.

結果の平等はともかく、機会というものは誰にでも平等であると固く信じている。

本校では生徒全員が『iPad』を持っていますし、『iPhone』のユーザーもかなり多いと思います。本校に限らずですが、彼のおかげで日々の生活が成り立っているといっても過言ではない人々が世界中にいます。そんな彼の言葉という意味では、彼は非常に大きな『結果』を残した人物であると言えます。

大小や、成功・失敗に関わらず、物事に取り組んだ後には必ず『結果』が出ます。もちろん大きな成功という結果が出れば非常に喜ばしいことだと思いますが、成功率 100%なんてことはあり得ません。成功や自分にとって満足の得られる結果を出すためには、よく考えたうえで諦めず何度も『チャレンジ』を続けていくことが重要だと考えます。

人間関係においてもそうですし、例えば自分の努力に対する人からの評価を結果とすることが多いです。そういう意味で、結果というものは自分ではなく相手によってもたらされることが多いと思います。平等に与えられた機会(チャンス)を活かし、満足のいく結果が得られるよう、努力していきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

スティーブ・ポール・“スティーブ”・ジョブズ(Steven Paul “Steve” Jobs、1955 年 2 月 24 日 - 2011 年 10 月 5 日)は、アメリカ合衆国の実業家、作家、教育者。アップル社の共同設立者の一人。アメリカ国家技術賞を受賞している。1976 年、ジョブズは友人のスティーブ・ウォズニアクが自作したマイクロコンピュータ「Apple I」を販売するために起業することを決意し、同年 4 月 1 日にウォズニアクおよびロナルド・ウェイン(英語版)と共同で「アップルコンピュータ・カンパニー」を創業した。アップルコンピュータ(以下アップル)が 1977 年に発売した「Apple II」は商業的な大成功を収め、パーソナルコンピュータという概念を世間一般に浸透させた。アップルはシリコンバレーを代表する企業に急成長を遂げ、ジョブズは 1980 年 12 月のアップル IPO 時に 2 億 5,600 万ドルもの個人資産を手にし、1982 年 2 月には『タイム』誌の表紙を飾るなど若くして著名な起業家となった。(Wikipedia 参照)